令 和 元 年 度 事 業 報 告 書

（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）

事業の一覧

公益目的事業　Ⅰ

（1）耳の日の集い事業

（2）教室事業（食育教室、フラ教室）

（3）広報事業（広報誌「岡山難聴」による広報、ホームページによる広報）

収益事業　Ⅰ

（１）慈善事業（チャリティバザー事業）

会長所感

昨年は当協会創立 50 周年を迎えた節目の年であった。11 月 17 日に記念式典と記念シンポジウム「加齢性難聴を考える」を開催した。シンポジウムは会場がいっぱいになる程の参加者であふれ、この問題への関心の高さを実感した。さらなる呼びかけと問題の周知を図るためシンポジウムの発言内容を収載した冊子の刊行すべく準備中である。加齢性の難聴になる方の数は多く、超高齢化社会の今、寿命も延びているところから、協会の活動に参加していただける方もおられることを期待したい。

50 周年記念誌は 3 月末に完成し、関係者・団体などに配布した。原稿をお寄せ下さった方々からは、前向きな提案や言葉が多く、励みになるものと感謝いたします。

今年 2 月からは新型コロナウィルス感染症が勢いを増し、当協会でも耳の日の集いは中止せざるを得なくなり、その他の行事や各種事業、会議なども中止することになった。全国に非常事態宣言が出され、感染の拡大を抑えるべく、様々な措置がなされた。この病気は人から人へうつるので、防ぐには人との接触を避けなければならない。マスクをつけ、お互いに 2 メートル離れて話す（社会的距離）ことが求められ、難聴者にはコミュニケーション困難な厳しい状況を強いられる。人の命と健康を守る必要があっての事なので、対応は難しい。コロナ感染症はほとんどの人が免疫を持つようにならないと本当には終息しないと言われており、ある程度落ちついた後も、感染を恐れてマスク装着が常態となり、相手との距離を置く風習が定着してしまわないか、危惧せざるを得ない。

ある専門家は、コロナ以後はそれまでとは世界のあり方が大きく変貌すると主張している。仕

事はテレワークが主流になり、それに伴いコミュニケーションのあり方が変わり、人が集まる会議からインターネットなどを利用した「隔議」「遠議」へと移っていくと。難聴者にとってこのような変化がどのような困難をもたらすか注視し、字幕対応の充実など、声を挙げていく必要があるであろう。

公 益 目 的 事 業　Ⅰ

難聴者等の社会福祉の向上に関する事業

（１）耳の日の集い事業　　コロナウィルス感染防止のため中止

（２）教室事業

食育教室

第１回　日　　時：令和１年６月２日　10 時から 14 時
場　　所：瀬戸内市中央公民館
瀬戸内市邑久町尾張 465－1
講　　師：管理栄養士
料　　理：鮮魚と新鮮野菜を使った減塩、生活習慣病予防の料理
参加者数：15 人

第２回　日　　時：令和１年９月 29 日　10 時から 14 時
場　　所：岡山市福祉文化会館３階料理教室
岡山市中区小橋町一丁目 1-30
講　　師：管理栄養士
料　　理：キノコご飯 季節の野菜を使ったサラダ ミルクゼリー
アジのカレー焼き ナスのグラタンきくらげの味噌汁
参加者数：13 人

フラ教室

日　　時：毎月第 1、第 3 水曜日
場　　所：福祉交流プラザ岡輝、岡輝公民館
岡山市北区旭本町１番 80 号
講　　師：ストレッチトレーナー
参加者数：延べ　53 人

（３）広報事業

会報誌「岡山難聴」による広報
発行回数：年 12 回　毎月発行
部数：年 4600 部
送先：会員、地域自治体、医療関係者、各地難聴者協会等

ホームページによる広報

当協会の活動をはじめ、社会福祉に関する団体の活動情報を配信する。

ホームページ内容の充実を図り、全難聴の記事を積極的に掲載するなど、より有効な情報の発信基地とする。

収 益 事 業　Ⅰ

(1)慈善事業（ チャリティバザー事業 ）

台風のため中止

主な会議・行事

通常総会　日程：6月9日（日）

理事会　　日程：5月12日（日）、3月1日

事業運営会議　日程：4月7日、7月6日、 9月15日、10月5日、11月10日、12月15日、1月19日、2月2日

創立50周年記念事業実行委員会　7月7日（日）、8月4日

創立50周年記念事業

記念式典・記念シンポジウム「加齢性難聴を考える」11月17日

会報編集会議・会報印刷　毎月一回

令和1年 度　主 要 事 業

4月	
5月	理事会（12日）
6月	通常総会（9日）　食育教室（2日）
7月	創立50周年記念事業実行委員会（7日）
8月	
9月	食育教室（29日）
10月	
11月	創立50周年記念式典・シンポジウム（17日）
12月	
1月	
2月	
3月	理事会（1日）